

重要取組シート

農業委員会事務局

取組項目		円滑・確実な委員会運営	
現状・課題		農業委員会の活動は、市民の営農経済活動等に対し直接の影響があるため、法令に規定された事務について、遅滞なく確実に実施しなければならない。 そのため、委員が参加しやすい総会運営、委員の実地活動における安全確保や効率性の向上を図る必要がある。	
取組の内容		Web 会議システムを利用した会議出席などにより、多様な委員が参加しやすい総会運営。 また、委員の担当区域における農地の確認業務においても、安全確保や業務の効率化につながる ICT (AI、ドローン、衛星システム等) の導入について、国が開発を進める農業委員会サポートシステムとの親和性も勘案し、実地活動の安全性向上や事後処理業務の効率化を検討。	
スケジュール	前期 (～7月)	☐ 総会等の円滑な実施 (毎月) ☐ 農業委員会総会における Web 会議システムの活用 (4月～) ☐ ICT の導入事例調査 (先進事例の調査等) (4～7月)	
	中期 (～11月)	☐ 総会等の円滑な実施 (毎月) ☐ ICT の事例調査を踏まえ、導入の可否を検討・決定 (8～10月) ☐ ICT を導入する場合は予算要求措置 (10月) ☐ 委員への事例研修等 (随時)	
	後期 (～3月)	☐ 総会等の円滑な実施 (毎月) ☐ 委員への事例研修等 (随時)	
	次年度以降	☐ R6 年度の進捗状況に合わせて具体的な取組を実施・継続	
進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 総会等の円滑な実施 (毎月) ☐ 農業委員会総会における Web 会議システムの活用 (4月～)	
	中期 (～11月)	☐ 総会等の円滑な実施 (毎月) ☐ 委員への事例研修等 (10月)	
	後期 (～3月)		
2025 堺市基本計画	該当する施策	4- (7) 次世代につなげる農業の促進	
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合 (概ね6か月以内) [現状値: 42.8% (2019年度)]	目標値 (2025 年度) 55.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGs のゴール	ゴール番号 2	飢餓をゼロに
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合 (概ね6か月以内) [現状値: 42.8% (2019年度)]	目標値 (2025 年度) 55.0%